

# えばさんものがたり 第103話

ホームページ <https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>  
TEL 3783-2000 FAX 3783-5649

カラー版は  
こちらから



## ～区民まつりをきっかけとしたつながり～



昨年10月に行われた「荏原第三地区区民まつり・防災訓練2025」は町会、企業、NPO、学校など多くの地域団体の方々の協力によって成功に終わりました。このイベントを通じて、団体同士の連携が進み、地域みんなで荏原第三地区を盛り上げていく機運が高まってきています。今回はその例としてタニコー株式会社さんに「平塚二丁目町会」との連携を紹介していただきます。

春を感じるぽかぽかとした暖かい陽気の3月8日(日)午前中、タニコー社員2人で、平塚二丁目町会様が主催する防火防災チャレンジパークに参加しました。少し私たちの紹介をさせていただきます。戸越銀座に本社のあるタニコーは、飲食店へ厨房機器やベーカリー機器、そして病気を治す医薬品の製造工程でも使用されるステンレス容器の販売メーカーです。

昨年の荏原第三地区区民まつり・防災訓練2025で、私たちは緊急災害用煮炊き釜を使ってレトルト品で実演デモ調理を行い、そこで平塚二丁目町会様とのご縁が始まりました。ガスだけではなく薪でも使え、被災時に心がHOT暖まる料理が作れる緊急災害用煮炊き釜が、見に来られた町会の方たちのお心に響いたのだと思います。3月の町会イベントの豚汁調理でご利用になるということで、ありがたいことにご購入いただきました。その時からイベントのお手伝いを何かできないかとの想いを私たちは抱いていました。



イベント当日、町会の皆さんは大鍋で具沢山の豚汁を手際よく作っていき、災害時に利用することがあったとしても、全く問題ないと頼もしく思いました。また、荏原消防署の皆様が子どもたちへ小型消防ポンプや消火器の簡単な使用体験を提供するなど、地域防災の一助に繋がる素敵なイベントだと感動しました。さらに、私たちには思いもよらない意見をいただきました。それは、一般的な大鍋で豚汁を作ると鍋の上下で具と水分が均一にならず、最後に豚汁の汁だけを大量に廃棄してしまっていたのが、今回の鍋では底に汁が残らなかったことに驚いたというものです。

町会の方々の地域を想う優しさに触れたことや、地域のイベントと環境にも微力ながら貢献できたと、とても嬉しく思っています。私たちはこれからも、このような地域連携がさらに広まることを応援しています。